



釜小だより

2022年 4月28日
横浜市立釜利谷小学校
5月号



学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariya/>

歩み続ける



校長 安達 修久

陽射しが夏に近づいているを感じる今日この頃、青い空に木々の緑がまぶしく輝いています。雨が降ると肌寒いほどに気温が下がるのに、晴れると熱中症にも注意が必要なほど暑くなります。服装選びも含めて、体調管理が難しい時期です。

さて、左の行事予定にもありますように、5月26日は本校の開校記念日です。そこで少し学校の歴史を、児童数を基にひもといてみることにしました。

学校ホームページの「学校紹介 沿革」にも載っているように、明治6年に開校した当時の児童数は70名でした。そして「学校要覧」の児童数の記録を見ると、創立80周年の昭和30年には1024名、昭和35年には1050名の児童が学んでいたとあります。昭和40年には810名とやや少なくなりましたが、昭和50年には1910名もの児童数になっていました。

現在の児童数は368名。800名や1000名の児童数にも驚きますが、2000名近くの児童が、いったいどうやって学んでいたのだろうか？と疑問に思わずにはいられませんでした。地域には、本校の卒業生の方もお住まいですので、もしかしたら当時の様子をご存じの方もいらっしゃるかもしれません。

明治の初めから学校があったということは、当時からこの地域に人の営みがあり、それが脈々と受け継がれてきたということです。長い歴史を積み重ね、今年度本校は開校以来149年目となります。その間、様々に姿を変えてきたことと思いますが、児童の学びがあり、地域とともに歩んできたことはまちがいありません。令和4年度の釜利谷小学校はさらに150年目へ、地域・保護者の皆様とともに歩んでいきたいと思っております。これからもご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

お知らせ・お願い

本校では体育学習時には、衛生面・健康面を考え、肌着は着用しない、または汗をかいたり汚れたりしたら着替える、という指導をしております。ただし、肌着の着用については、発達段階に応じてご家庭でご判断をお願いいたします。また、冬季の寒さ対策については、体育着の上に一枚トレーナーなどの運動しやすい上着を着用することができます。肌着・上着に関しましては、着用の際は、安全上、チャック等のないものをご用意ください。